

北国にも本格的な夏の暑さが到来しました。暑中お見舞い申し上げます。ソバの花も咲き乱れ、干ばつ心配を背に、モンシロチョウが無心に飛び回っています。7月6日には、わかち愛ひろばに、町内のゴミ拾いボランティアが集まり、老若男女が作業のあと竹を割った大きな長い流し台で、上から流れてくるそうめんを堪能。サクランボやイチゴまで流れるカラフルな夏の風物詩に魅了されました。夢の様に素敵な演出をしてくれた主催者の皆様に感謝いたします。

食事のあと、外国から一時帰国され、お子さんを保育所や学校に通わせている方とお話が弾みました。日本語という文化の中で暮らしている私たちは、外国語という文化との接触によって、改めて自己認識を促され、新しい文化階段へと進んでいくのでしょうか。小学校時代から英語を学ぶことも含め、国際化の波が自らの足もとを照らし、自国の文化を深く見つめる要素の一助となつてほしいと願うばかりです。

町長 田中一史

モー突進レポート

翔 SHOW TIME たいむ vol.3



「広報もせうし」を担当している笹尾翔大です。今回のモー突進レポート翔たいむでは、「茶道」を体験します。様々な作法や、正座という立ち方はだかる壁を乗り越え、僕はおいしいお茶にたどり着くことが出来るのでしょうか。

今回は「茶道表千家 弥生会」の活動に参加させていただき、「茶道」を体験しました。

弥生会は、お茶の稽古をするというよりは、お茶をいただきながら話に花を咲かす同好会のような活動をされています。

会員の方々に指導していただいていたのは、何より作法が大事だということ。部屋の敷居を踏まない、畳の縁を踏まない…お茶をいただくどころか座るまでに様々な決め事がありました。「なるほどお、これが「茶道」というものですね？」

なんて考えながら畳の上に座るのですが、正座がキツイ！日頃、正座をすることがない僕にはこれは難関でした…。

茶道ではお茶を飲む前にお菓子をいただきます。お菓子はあくまでお茶を引き立てるものなので最初にいただくそうです。



見よう見まねでお茶をいただきます

茶道表千家 「弥生会」

さて、すぐにお菓子を食べてしまった僕は、次にお茶をいただきます。もちろん作法があり、自分より先の順番の方に挨拶をし、次の方には「お先に」と声をかけます。いただいたお茶はとてもおいしかったです。お茶をおいしくいただくためのよ

うな大人の舌になつたんだなあとしみじみ…。

初めての茶道体験では、おいしい

いお茶がいただけただけでなく、様々な作法、日本の侘び寂びの文化を学ぶことができました。舌だけじゃなく中身もつと大人にならないといけませんね。



結構なお手前で…最後はぱっちり締められました



足がしびれて立ち上がるのは一苦勞でした…